

■令和3年6月28日号（第1744号）

- ・港湾局 第82回港湾分科会開催＝室蘭港、境港の改訂了承
- ・港湾分科会 CNP形成の動き報告＝検討会での委員意見紹介
- ・港湾局 オリパラ控えテロ対策＝港湾での保安訓練実施
- ・国土交通省 インフラの長寿命化へ＝第2次行動計画を策定
- ・国土交通省 第5回グリーン社会WG＝とりまとめの内容固める
- ・政府 地域脱炭素ロードマップ＝基盤的施策と事例を提示
- ・鹿島港 築造工事その2と本土工＝関東地整、外港地区の中央防波堤
- ・京浜港湾事務所 横浜港ふ頭合同点検＝大さん橋ふ頭客船Tなど
- ・東京湾口航路 第二海堡の護岸整備＝北側護岸他付帯2件
- ・茨城港 日立・大洗防波堤＝粘り強い化着手
- ・東日本地区 来年度の整備・政策概要＝港湾管理者が国に要望①
- ・境港 港湾計画改訂、ふ頭再編＝コンテナふ頭水深12m岸壁
- ・北九州港 新門司沖2期土砂処分場＝地盤改良4件、築造1件追加
- ・西日本地区 来年度の整備・政策概要＝港湾管理者が国に要望①
- ・港コン協 第10回定期総会開催＝高田港湾局長ら記念講演
- ・港コン協 災害時行動マニュアル策定＝時系列に沿った取組み
- ・海上GPS機構 マルチGNSSに移行＝測位信頼度や範囲拡大
- ・加藤建設 日本海側最大起重機船＝洋上風力工事に投入中
- ・港湾局／海事局 クルーズ再活性化へ＝補助対象に20事業採択
- ・CDM研 第44回通常総会開催＝施工土量拡大へ研究継続
- ・海事局 洋上風力ガイドライン策定＝無人潜水機と作業教育
- ・五洋建設／関門港湾 カルシア落下混合船建造＝施工の効率化を実現
- ・国交省 基盤整備調査費の支援＝対象案件事業の募集開始
- ・環境省 新潟県胎内市・村上市沖＝洋上風力発電で意見提出

■令和3年6月21日号（第1743号）

- ・国交省 インフラ海外計画を策定＝「売れる港湾」を後押し
- ・トップインタビュー 若築建設・烏田社長の抱負＝安全第一で本業重視
- ・政府／国交省 物流大綱を閣議決定＝強靱な港湾施策に期待
- ・経済諮問会議 骨太方針の原案を提示＝洋上風力等「総動員」で
- ・国土政策局 国土の長期展望まとめ＝CNP形成で港湾再構築
- ・千葉港 水深9m岸壁の築造工事＝関東地整、中央地区複合一貫ターミナル整備
- ・室蘭港 3地区で新規岸壁整備＝地港審、計画改訂案を分科会へ
- ・仙台塩釜港 向洋港区水深14m岸壁＝本体とクレーン基礎
- ・苫小牧港 ケーソン製作と据付＝真古舞水深12m岸壁

- ・福岡空港 滑走路増設、今後本格化＝拡張部整備が完了見通し
- ・那覇港 来年度港湾計画改訂へ＝民港の作成方針固まる
- ・名古屋港 新土砂処分場基本設計＝護岸断面の構造諸元等
- ・長崎港 女神地区の護岸を改良＝航路増深に対応し補強
- ・徳島小松島港 金磯水深 11m岸壁予防保全＝今年度は5 スパンを改良
- ・指宿港海岸 突堤（大山崎）の築造工＝北離岸堤（上部工）も
- ・土木学会 令和3年度総会を開催＝新会長に谷口博昭氏就任
- ・JOPCA 第29回通常総会開催＝WEB国際交流で成果
- ・海上GPS機構 第16回通常総会を開催＝GNSS測位の高度化等
- ・日本港湾協会 鮫島賞授与式開催＝小川、村上の両氏を表彰
- ・環境省ら 洋上風力基礎残置検討＝条件の明確化等で議論
- ・長崎県五島市沖洋上風力＝浮体式で戸田建設グループに
- ・港湾局／海事局 海洋周辺の魅力向上事業＝7港における事業を選定
- ・経産省 洋上風力設備投資を支援＝産業競争力強化法が成立
- ・東京港 ふ頭保安設備合同点検＝オリ・パラ控え確認強化
- ・秋田県 CCUS実証試験＝国への提案・要望
- ・伊豆大島 浮体式洋上風力＝町が導入実証事業
- ・ジャパンマリン セミサブ浮体デザイン＝ノルウェー協会の認証取得

■令和3年6月14日号（第1742号）

- ・港湾局 CNP実現へ検討会開催＝年内初版マニュアル作成へ
- ・港湾局 第2回港空工事検討会＝休日確保でガイドライン案
- ・航空局 第2回空港CO2検討会＝30年空港CN達成案発表
- ・海事局 第2回内航CN検討会＝港湾との連携が論点軸に
- ・経産省 第28回産業構造審議会＝新機軸の対象に洋上風力
- ・港湾協会 第94回定時総会開催＝予定議案等全て了承
- ・千葉港 第1期埋立ての詳細設計＝6月補正、千葉中央地区埠頭再編
- ・秋田港 本体築造と製作工など＝東北地整、第二南防波堤の整備
- ・室蘭港 鋼管杭の撤去と打設＝祝津絵鞆地区11m岸壁
- ・横浜港 南本牧ふ頭5-1＝陸上地盤改良工
- ・中部国際空港 第2滑走路の早期実現を＝議連総会、知事、経済界が要望活動
- ・清水港 新興津地区国際物流ターミナル＝基本設計業務の手続き
- ・高知港海岸 湾口地区の水門予備設計＝津波防御、構造形式の設定など
- ・西之表港 複合一貫輸送ターミナル整備へ＝3年度新規事業、水深7.5m耐震岸壁
- ・尾道糸崎港 潜堤護岸の海底地盤改良＝浚渫土活用し浅場造成へ
- ・北陸地整 令和3年度北陸懇談会＝社会資本重点計画策定へ

- ・茨城県 臨海部CNプロジェクト＝鹿島・茨城港周辺で新産業
- ・RSO 第22期通常総会開催＝高田港湾局長が講演
- ・マリーナ・ビーチ協 第49回通常総会開催＝新マリンレジャー創出へ
- ・WF協会 第31回定時総会開催＝S級グルメ大会を境港で
- ・NEDO 洋上風力研究調査事業＝実施先に10者を採択
- ・青森洋上風力 青森県西北沖南側の開発＝2028年開始の計画発表
- ・東電RP 山形県遊佐町沖＝洋上風力開発計画を発表
- ・千葉県 3年度6月補正予算案＝政策重視で港湾17億円超え
- ・横浜市 優先クルーズらと覚書＝LNGクルーズ船受入
- ・エネ白書2021＝日本洋上風力は第2位
- ・三菱商事／日本郵船 低・脱炭素スタートアップ支援
- ・下関港長州出島 産業ゾーンの分譲第1号＝協定調印式、新光電業新工場

■令和3年6月7日号（第1741号）

- ・社会資本整備 グリーンチャレンジ素案＝大きくなる港湾分野の役割
- ・国交省 脱炭素化の世界会議出席＝赤羽大臣、港湾の取組強調
- ・政府／国交省 第5次社会資本重点計画＝CNPを20港湾で計画
- ・国交相 ケニア国とインフラ対話＝港湾技術等で意見交換
- ・室蘭市 脱炭素社会協議会を設立＝北海道の水素基地目指す
- ・四国地整 高知港三重防護対策＝商工会女性会が視察
- ・新潟港 北護岸整備と排砂管敷設＝新潟港空、西港航路泊地付帯施設
- ・敦賀港 年度内に港湾計画改訂＝優先プロジェクト選定
- ・秋田港 岸壁設計を9月まで＝本港地区で集約再編
- ・川崎港 積出棧橋の仮設護岸＝浮島2期地区埋立て
- ・御前崎港 CN視野に利・活用調査＝洋上風力や賑わい・交流拠点
- ・広島港 宇品地区ふ頭再編事業＝岸壁の施工方法検討など
- ・姫路港 広畑地区国際物流ターミナル＝水深14m第2バース基本設計
- ・津松阪港海岸 堤防改良事業が進捗＝安全・安心へ整備促進
- ・三池港 航路増深へ浚渫事業＝土砂輸送や深浅測量も
- ・秋田洋上風力 基地港湾と促進・有望地域＝地元産学金連携も活性化
- ・東電RP 千葉県銚子沖洋上風力＝発電事業へ応募を公表
- ・海産研 洋上風力設置コスト削減＝講演会開催、リスク軽減へMWS重要
- ・CNAC 3年度総会を開催＝ネットワーク推進等
- ・三菱重工ら 港湾CO2削減取組開始＝第1弾、排出制御クレーン
- ・古川電気工業 洋上風力海底線の売上＝25年に20年の4倍増
- ・新潟市 再エネ導入業務＝洋上風力調査も

- ・大分市 豊予海峡ルート＝民活の条件整理
- ・三河港 県が長期構想案まとめ＝来年度の改訂に向け作業
- ・秋田県 新エネ産業戦略＝改訂業務を委託
- ・北九州空港 第2回P I 評価委開催＝滑走路延長事業の透明性
- ・三井E & Sら 港湾クレーン点検業務＝ドローン自動飛行で
- ・商船三井 液化CO<sub>2</sub>と水素生産＝リトアニアで共同研究
- ・福岡市 アイランドシティ分譲地＝港湾関連用地で公募開始

■令和3年5月31日号（第1740号）

- ・社会資本整備 重点計画を赤羽大臣に答申＝戦略港湾強化、CNP等
- ・国交省 渡辺副大臣就任会見＝「国民の命と暮らしを守る」
- ・埋浚協会 3年度定時総会を開催＝CNPは業界成長の好機
- ・国土政策 最終とりまとめ案検討＝港湾機能強化、CNP等
- ・港湾局 港湾労働者数の見直し＝不安感の高まりを懸念
- ・土木学会 海外インフラシンポ
- ・伏木富山港 水深14m岸壁築造を2件＝新湊地区中央埠頭再編整備事業
- ・久慈港 今年度築造で3函据付＝釜石港湾、湾口地区防波堤整備
- ・小名浜港 ケーソン1函を据付＝東港地区第二沖防波堤
- ・姫川港 西ふ頭水深11m岸壁＝ケーソン据付に着手
- ・東京都 八丈島空港RESA＝改修計画調査を委託
- ・細島港 水深9mの耐震岸基本設計＝ROROふ頭の再編に対応
- ・舞鶴港 和田地区第2バース整備＝SCP工事の手続き開始
- ・高松港 朝日地区一貫輸送ターミナル整備＝船尾部係船岸に先行着手
- ・川内港 唐浜地区水深12m岸壁＝コンテナバルク設計業務等に着手へ
- ・JFE 洋上風力事業に参入表明＝国内初のモノパイル製造
- ・JWPA 20年度活動報告会開催＝行動指針を新たに策定
- ・白海 リモート勉強会実施＝学生向け、九州地整、港空研協力
- ・東京都 第4回長期構想検討部会＝岸壁増深やヤード不足議論等
- ・エネ庁 海底直流送電の検討会＝洋上風力で漁業協調を模索
- ・みなとサポート 規模縮小で総会開催＝書面表決で議案了承
- ・MARINDOWS 船のCO<sub>2</sub>排出量可視化＝先端機器開発を開始
- ・環境省 鹿島港の洋上風力発電＝経産省へ意見書
- ・e5ラボ スイス企業と販促提携＝EVシャトル参入に注力
- ・オーステッド 秋田県事業に共同参加＝洋上風力で国内企業と協力
- ・新潟県 両津港賑わい拠点＝基盤施設検討調査
- ・金沢港 市が利用促進セミナー＝物流機能の優位性等

■令和3年5月24日号（第1739号）

- ・港湾局 洋上風力基地港湾検討会＝配置・規模、地域振興に焦点
- ・経産省 Jブリッジ洋上風力セミナー＝欧州企業との協業を加速
- ・日港連 第38回通常総会を開催＝グリーン化や国土強靱化
- ・港湾局 国際コンテナ戦略港湾政策＝CNP、DX等を新柱に追加
- ・港湾局 第6回サイバーポート委＝利用者利便性向上へ取組
- ・東京港 新海面のDブロック護岸＝都港湾局、ケーソン据付4件など
- ・能代港 鋼管矢板打設工の手続き＝洋上風力、大森地区水深10m岸壁
- ・茨城港 D岸壁側面護岸整備＝ケーソン3函据付等
- ・名古屋港 金城ふ頭の再編整備事業＝4年度末直轄完了へ促進
- ・神戸港 PC18バース耐震改良＝拡張部の液状化対策追加
- ・石垣港 旅客船バース整備完了＝今年度から外郭施設に着手
- ・和歌山下津港 内海水門取付工事予定＝扉体製作・据付、取付護岸
- ・志布志港 バルクBケーソン製作＝沖防波堤1函の築造も
- ・阿南市 ゴーニングマップを公開＝洋上風力事業者向け
- ・那覇空港 滑走路事業を実施＝延長1000m区間対象
- ・港湾局 港空工事のあり方検討会＝官から民の横展開を要望
- ・海事局 第1回内航CN検討会＝石油・鉄鋼が貢献策提示
- ・土木学会賞 功績賞に中尾成邦氏ら＝技術賞（Ⅱ）に東京臨港道路等
- ・東京都 東京港無電中化整備計画＝意見募集を開始
- ・東京港 鉄道モデルシフト＝実証実験、事業者募集
- ・横浜港 コンテナ港の性能比較＝世界で最も効率的と評価
- ・高松港／坂出港 経済同友会が提言書＝県構想委での検討求める
- ・JFEグループ 第7次中期経営計画＝洋上風力を最重要課題に
- ・東芝とGE 洋上風力発電で提携＝技術提供とSPチェーン
- ・環境省 青森つがる沖洋上風力＝津軽公園内回避を要望
- ・神栖市 津波避難施設検討＝3地区で基本計画

■令和3年5月17日号（第1738号）

- ・国交省 グリーンチャレンジ政策＝CNP形成や洋上風力重点
- ・国交省 渡辺副大臣が新任挨拶＝国交省の仕事に大きな誇り
- ・港湾局 港空工事のあり方検討会＝6月にもガイドラインまとめ
- ・国交省／農水省 輸出拡大に向け意見交換＝地方の港湾・空港が主役
- ・国交省 コンテナ不足解消へ＝経産、農水と情報共有会合
- ・PIANC－日本部会 アジアセミナー21開催＝沿岸防災テーマに講演

- ・梶山大臣、英国とTV会談＝カーボンニュートラル施策等テーマ
- ・横浜港 新本牧ふ頭整備1期地区＝市事業、WTOで護岸B2本土工
- ・横浜港 親水護岸や藻場・浅場＝臨港パーク先端部整備
- ・新潟空港 進入灯橋梁を延伸＝西港側で工事着手
- ・大阪港 北港南航路附帯施設護岸＝今年度に開口部の締切工
- ・徳山下松港 徳山岸壁整備で地盤改良＝高圧噴射攪拌とSCP工法
- ・平良港 クルーズバース今年度完成＝海保庁の棧橋も事業実施
- ・那覇港 新港地区クルーズバース＝今年度に暫定供用へ進捗
- ・港湾局 風力発電の未開発海域＝調査希望者の情報提供募る
- ・利尻町・奥尻町 洋上風力導入調査＝浮体式など検討開始
- ・商船三井 三井E&Sと共同検討開始＝神戸港に水素燃料に向け新型機
- ・川崎重工 世界最大の貨物格納設備＝液化水素の大量輸送に
- ・川崎汽船 洋上風発の作業船事業＝川崎近海汽船と合弁会社
- ・環境省 石狩湾の洋上風力＝経産相に意見提出
- ・日鉄エンジ 洋上風力発電に注力＝国土強靱化施策も強化
- ・あおみ建設 3年度技術発表会＝技術関連情報周知
- ・新潟県 カーボンニュートラル調査委託＝拠点開発計画策定へ
- ・国交省 官民連携基盤調査費＝港湾関係で2件配分
- ・横浜港 国際物流センター株式＝横浜港埠頭に譲渡しLG強化
- ・高知港 釣り文化振興モデル＝釣り場開放へ現地調査
- ・九州地整 インフラDX推進センター＝体験型内覧会を実施
- ・酒田港 今昔物語・展示会開催＝「県内唯一の貿易港」周知へ
- ・千葉港 令和3年度の助成制度＝コンテナターミナル利用者対象
- ・東北地整 建設会社の災害時継続力＝新たに39社を認定

■令和3年5月3日・10日合併号（第1737号）

- ・自民党港湾議連 CNPに係る検討状況＝脱炭素化で港湾機能高度化
- ・港湾局 「生産性の向上」施策＝港湾DXやデジタル化
- ・港湾局 基地港湾のあり方を検討＝風車大型化や需要増に対応
- ・春の叙勲 旭小に石黒氏＝瑞中に島田氏、福手氏、山田氏
- ・港湾局／航空局 港・空工事あり方検討委＝今夏にガイドラインまとめ
- ・東京都 ICT活用事業＝実証的取組を支援
- ・東京都 「東京ベイeSGプロジェクト」＝第1次策定案を公表
- ・能代港 WTOの鋼管矢板打設工＝洋上風力、大森地区水深10m岸壁
- ・伏木富山港 今年度に築造工事2件＝富山地区、水深10m2号岸壁改良
- ・川崎市 カーボンニュートラル産業エリア構築＝基本的な考え方作成へ

- ・東京都 神津島空港 R E S A = 改修計画調査を委託
- ・名古屋港 物流機能強化への期待 = 飛島南ふ頭や臨港道路等
- ・名古屋港 既設 C T 岸壁の耐震改良 = 飛島南 T S 2、鍋田 T 3
- ・鹿児島港 臨港道鴨池中央港区線 = 橋梁 P 5、P 7 下部工へ
- ・三島川之江港 金子地区水深 9 m 岸壁 = 事業効果検討など実施
- ・北九州空港 保安部エプロン等整備 = 用地造成 ~ 舗装工事等
- ・北九州港 新門司沖 2 期土砂処分場 = W T O 護岸築造工事 2 件
- ・大坪海事局長 内航分野 C N の方向性語る = 「ロードマップ」策定作業
- ・長崎県 江島沖洋上風力計画構想 = 促進区域に向け協議開始
- ・福井県 低炭素、再エネ推進 = 敦賀港長期構想の施策
- ・山口県 水素等エネルギー = 研究開発を支援
- ・経産省 C N の経済的実現施策 = 民間活用も広く検討へ
- ・国交省とタンザニア 質の高いインフラ対話 = 道路・港湾分野で意見交換
- ・横浜港埠頭 中期経営計画を策定 = ロジスティクス機能も
- ・濱口梧陵国際賞募集 津波・高潮への防災 = 5 月 23 日まで
- ・秋田県 埋立造成が数年継続 = 港湾整備経営戦略策定
- ・福井県 港湾整備経営戦略 = 荷役機械更新など

■令和 3 年 4 月 26 日号 (第 1736 号)

- ・港湾局 港湾 D X の運用拡大図る = 横浜新本牧ふ頭整備で試行
- ・秋田、能代港の洋上風力建設開始へ = S E P 船が到着、秋田洋上風力発電
- ・港湾局 「担い手育成・確保」施設 = 回航等対象船舶拡大検討
- ・国交省 第 3 回グリーン社会 W G = 港湾・海事分野の C N 等
- ・港湾局 国際クルーズ受入機能 = 高度化事業実施の 16 港
- ・リサイクルポート推進協 環境大臣賞を受賞 = 災害廃棄物海上輸送等評価
- ・鹿児島港 タワー載荷部の築造手続 = 洋上風力、12m 岸壁の基地港整備
- ・石狩湾新港 東港国際物流ターミナル = 小樽開建、水深 12m 岸壁に着工
- ・仙台塩釜港 石巻港区南防波堤 = 地盤改良が完了へ
- ・関東地整 第二海堡の護岸工事 = 東京湾中央航路整備
- ・敦賀港 鞠山南国際物流ターミナル = 裏込工を 2 四半期
- ・鹿児島港 谷山二区第 2 バース整備 = 1 件工事で 30 億 ~ 50 億円規模
- ・和歌山下津港海岸 藤白護岸改良を順次延伸 = 築造工事や詳細設計等
- ・中城湾港 長期構想策定、年度内改訂 = 新港地区の物流機能強化へ
- ・大阪港 北港南航路附帯施設整備 = 沈殿池の最終工事手続き中
- ・大分港 大在西 R O R O 新バース = 深層混合で海底地盤改良
- ・東洋建設 打設杭トータル施工管理システム = 高精度化や省人化を実現

- ・九州大学 洋上風力融資適格性評価＝日造ら4社と共同研究開始
- ・山形県 洋上風力早期導入へ取組＝遊佐町沖と酒田市沖で検討会
- ・三井物産と北拓＝洋上風力メンテ新会社設立
- ・環境省 鉄スクラップ輸出の遠方化＝第2回海上輸送検討会開催
- ・阪神国際港湾 CONPAS導入を促進＝検討会が支援事業を開始
- ・東北地整 能代港に関する回答＝洋上風力の基地港湾
- ・千葉県 名洗港整備に着手＝洋上風車メンテに
- ・千葉県 いすみ市沖風力構想＝国に促進区域要望
- ・環境省 北九州空港滑走路延長＝環境大臣が意見書提出

■令和3年4月19日号（第1735号）

- ・羽田空港 アクセス鉄道や耐震化等＝令和3年度主要事業の概要
- ・港湾局 港・空工事あり方検討会＝新担い手3法の対応も強化
- ・港湾局 感染症BCPガイドライン＝新たにコロナ対策を組み込み
- ・港湾局 サイバーポート推進WG＝事業者間連携機能等確認
- ・東北地整 秋田港の洋上風力発電＝基地港湾の賃貸借契約調印式
- ・釧路港 土砂処分場拡張部に着工＝西港区、泊地浚渫、島防波堤も
- ・東京港 中防外側Y3バース＝試験杭工事を発注予定
- ・両津港 湊地区岸壁改良着手＝今年度に調査・設計
- ・伏木富山港 新湊大橋を耐震化＝今年度に詳細設計
- ・阪神港 国際コンテナ戦略港に234億円＝大阪港の水深16m航路等
- ・北九州港 洋上風力積出し基地整備＝岸壁取付部と背後埋戻し
- ・那覇港 臨港道路若狭港町線＝今年度から現地着工へ
- ・防衛省 馬毛島自衛隊基地整備＝港湾施設整備等へ調査
- ・中城湾港 水深11m泊地の浚渫＝今年度34万m<sup>3</sup>実施
- ・五洋建設 DEME社（ベルギー）と合弁会社＝洋上風力、大型SEP3隻体制へ
- ・東洋建設 ジャイロ式船舶減揺装置＝潜水土船に初導入し効果
- ・エネ庁 洋上風力2030年導入料＝200～300万kW運開へ取組み
- ・北陸地整 新潟港CNPまとめ＝6つの具体的な取組みを提示
- ・潜水協会 潜水技士の受験資格見直し＝若手潜水土確保・育成へ
- ・経産局・新潟県 カーボンニュートラル産業ビジョン策定＝協議会の中間まとめ
- ・新潟県 再生可能・次世代エネ＝産業労働部3年度事業
- ・国交省 インフラDX総合推進室＝DXルームと実験フィールド開所

■令和3年4月12日号（第1734号）

- ・港湾局 CNP形成マニュアル骨子＝6地域の検討会結果まとめ



- ・港湾局 管理分野サイバーポート＝素案作成、今後システム設計
- ・クルーズ振興 安心安全、地域活性化支援＝補助事業の申請受付へ
- ・港湾局 AIでガントリークレーン予防保全＝センサー解析で異常確認
- ・国交省 社会資本重点計画素案＝DXやインフラの脱炭素化
- ・国交省人事（4月1日付、事務官）
- ・東京港 新規埠頭など機能強化案＝第2回長期構想検討部会を開催
- ・関東地整 横浜・川崎CNP検討結果＝目指すべき姿や取組み
- ・関東地整 東京湾浅羽造成工事＝富津沖窪地を埋め戻し
- ・仙台港 ガントリー3号機＝更新工事を発注へ
- ・新潟港 北護岸の基礎工事＝航路泊地付帯施設
- ・四日市港 霞北ふ頭W81バースに着手へ＝水深14m延長300m岸壁
- ・神戸港CNP 荷役機械や係留時電力等＝全国に先駆け積極的FC化へ
- ・中部地整 名古屋港CNPまとめ＝必要な基幹インフラなど
- ・北九州港 新門司沖土砂処分場2期＝護岸築造、地盤改良促進
- ・北開局 港湾・漁港の技術開発＝ビジョン策定、持続可能なみなとづくり
- ・各社トップの入社式訓示
- ・海事協会・沿岸センター 洋上風力設備で合同審査＝発電事業者の作業負担軽減
- ・北陸地整 港湾ビジョンを策定＝北前船構想2030
- ・港空研 世界初、長時間海底地形計測＝ハイブリッドドローン活用
- ・東亜建設工業 冷凍冷蔵倉庫向け耐火構造壁＝国土交通大臣認定を取得
- ・鹿島港洋上風力発電＝配慮書の縦覧が終了
- ・東京港 LNG・水素燃料船＝インセンティブ導入
- ・横浜港港勢（R2速報値）＝コンテナ12月は回復

■令和3年4月5日号（第1733号）

- ・港湾局人事（4月1日付）
- ・産直港湾 農林水産物・食品の輸出支援＝施設整備等民間事業者公募
- ・土木学会 「インフラパートナー」制度＝市民団体等と協働活動
- ・港湾局 点検技術カタログ公表＝3年度追加公募
- ・新潟港 航路泊地付帯施設の整備＝西港区、北護岸ケーソン製作など
- ・千葉港 防泥柵の改良工事＝葛南地区国際物流ターミナル
- ・石狩湾新港 水深12m岸壁に着手＝東地区国際物流ターミナル整備
- ・新潟県 両津港南ふ頭再編＝交通広場レイアウト
- ・徳山下松港 国際バルク戦略港湾整備＝徳山地区岸壁の延伸工も
- ・高松港朝日地区 複合一貫輸送ターミナル＝3年度に船首部から施工
- ・八代港 大築島処分場護岸地盤改良＝WTO2件のSCP打設工

- ・博多港 臨港道アイランドシティ3号線完成＝鳩山政務官迎え開通式典
- ・宇部興産、港空研ら 深海でセメント硬化体計測＝駿河湾沖70km、水深約3,500m
- ・横浜港南本牧 MC4が本格供用開始＝全体の一体利用が可能
- ・関東地整 CONPAS本格運用＝横浜港南本牧コンテナ
- ・小名浜港 第3回CNP検討会開催＝形成に向けた方向性提示
- ・国交省・水産庁 Pボート放置艇対策＝今後の対応策まとめ
- ・海事局 海運モーダルシフト表彰＝大賞2者、優良事業12者
- ・苫小牧港 ESIプログラムに参加＝環境配慮船の寄港促進
- ・横浜市 港湾整備事業費会計＝新本牧の発生土受入
- ・環境省 東京湾環境一斉調査＝2年度報告書まとめ
- ・土木学会 日米合同シンポ(4/14～)＝インフラレジリエンス

■令和3年3月29日号(第1732号)

- ・港湾局 海・船視点の港湾強靱化＝Ver.1まとめ、年内に技術基準改定
- ・JBE Jブルークレジット認証＝交付式開催、横浜港の藻場づくり活動
- ・関東地整 横浜・川崎港CNP＝第3回検討会、方向性とりまとめへ
- ・港湾局 港湾感染症BCP検討会＝ガイドライン案まとめ
- ・日本港湾協会 ポート・オブ・ザ・イヤー表彰式＝「佐渡の港」が受賞
- ・日港連ら 特定技能外国人受入れへ＝港湾関係、第2回検討協議会開催
- ・新千歳空港 誘導路複線化の整備促進＝札幌開建、RESAは文化財調査へ
- ・関東地整 多摩川トンネル立坑2件入札＝国道357号湾岸道路
- ・千葉港 コンテナヤード拡張＝自動車ヤード移転後に
- ・福島県 相馬港防波堤の延伸＝小名浜港は荷役機械
- ・大阪港 北港南航路の浚渫工事＝水深16m化、拡幅増進
- ・大分港海岸 津留地区護岸の改良＝鋼矢板打設工を促進
- ・近畿地整 阪神港CONPAS＝神戸港で第1回試験運用
- ・高知港海岸 タナスカ地区耐震改良＝西護岸の鋼管矢板圧入工事
- ・国交省 次期技術基本計画策定へ＝部会開催、3年度末にとりまとめ
- ・NEDO 水素社会モデル構築へ＝技術開発、ポテンシャル調査
- ・近畿の国際物流 第17回本部会合を開催＝コロナ感染症の物流影響等
- ・国交省 新・国土形成計画策定へ＝来年度、総点検を実施
- ・東亜建設工業 原位置地盤試験機を開発＝軟弱地盤等、トータル管理技術
- ・日鉄エンジ 青少年の体験活動推進＝文科省表彰、審査委員会優秀賞
- ・JICA マタディ港改良計画FS＝ヤード整備、オペレーションシステム導入
- ・東商 赤羽国交大臣に要望書＝次期交通政策基計施策
- ・国交省 インフラメンテ大賞＝募集開始、技術開発等

■令和3年3月22日号（第1731号）

- ・高田港湾局長 港湾施策の展望を語る＝物流の高度化、グリーン化
- ・航空局 空港の再エネ拠点化へ＝検討会設置、Co2削減方を議論
- ・航空局 航空法の一部改正案を閣議決定＝制度創設、基盤強化方針策定など
- ・航空局 次世代航空モビリティ＝企画室、4/1付新設
- ・港湾局 サイバーポート運用開始へ＝港湾物流手続きの電子化
- ・港湾局 サイバーポート実証事業＝利用促進、運用効率化
- ・入札契約 海外実績等を加算評価＝国交省、認定・表彰プロジェクト対象に
- ・千葉港 泊地浚渫と構造物撤去工＝関東地整、中央地区複合一貫ターミナル整備
- ・東京港 長期構想議論本格化＝第2回検討部会開催へ
- ・世界最大級コンテナ船 MSC ISABELLA＝横浜港南本牧CTに入港
- ・浦賀レンガドック活用＝民活含む整備方針検討
- ・舞鶴港 和田地区第2バース整備＝新年度からSCP工事へ
- ・中空沖土砂処分場 各種調査業務順次発注へ＝3年度の工事着手へ準備
- ・高松港朝日地区 ターミナル着工式典開催＝赤羽国土交通大臣が式辞
- ・西之表島 ROROバースを新設＝新規採択評価部会、耐震強化岸壁として整備
- ・NEDO 洋上風力導入拡大へ調査＝技術開発の方向性
- ・JERA 青森沖で洋上風力計画＝アセス配慮書、最大出力60万kW
- ・鉄鋼連盟 「第24回土木鋼構造シンポ」＝基礎構造物の強靱化取組等
- ・りんかい日産ら「PDM (Pile Driving Monitor)」開発＝打撃杭変位量を自動計測
- ・国交省ら 第9回ロボット大賞決定＝母船レス海底調査システムなど
- ・中部地整 大分産を清水港からシンガポール港へ＝農産物の試験輸送に取組み
- ・日立造船 青森西北沖洋上風力＝事業に係る合弁契約締結
- ・国交大臣賞 グリーンインフラ大賞＝シンポ開催、表彰式実施
- ・国交省 国土交通データプラットフォーム＝利用規約を策定
- ・グリーンイノベ基金＝経産省が基本方針策定

■令和3年3月15日号（第1730号）

- ・港湾局 第81回港湾分科会開催＝清水港の改訂、5港の変更
- ・高田港湾局長 環境価値の高い港づくり＝我が国が目指す港の姿
- ・港湾局 新規事業評価部会開催＝7事業整備を適当と答申
- ・港湾局 海面上昇対応の基準整備＝検討委、年度内に方向性
- ・温対法改正案、閣議決定＝制度創設、脱炭素化を促進
- ・津波・沿岸防災書籍発刊「絆 津波からいのちを守るために」
- ・鹿島港 岸壁築造を第1四半期に＝洋上風力基地港湾、外港地区水深12m岸壁

- ・小名浜港 第二沖防波堤の築造＝W T O案件で5月開札
- ・横浜・川崎港 第2回C N P検討会開催＝方策、将来像等を議論
- ・北九州空港の3,000m化 計画段階環境配慮書縦覧＝南側延長案で手続きを進める
- ・神戸港 P Iコンテナヤード拡幅＝港湾計画一部変更、約10haを追加に
- ・細島港 R O R Oふ頭を位置づけ＝耐震2バース、ふ頭用地確保
- ・博多港 国際海上C T岸壁延伸部＝ガントリークレーン設置
- ・中国管内港湾 広域連携B C P検討会発足＝初会合開催、来年度まとめ
- ・「東京ベイE S Gプロジェクト」＝東京都、今月末に具体計画策定
- ・東京湾再生フォーラム 未来交流会2021開催＝N P O、企業の組織連携
- ・みなと総研 「未来のみなとづくり」＝令和3年度助成公募中
- ・寒地センター 「シンポみなと in 札幌」＝洋上風力テーマに意見交換
- ・苫小牧港 小口混載コンテナ輸送＝支援事業、3者を選定
- ・丸紅 石狩湾で洋上風力＝アセス配慮書、最大出力100万kW
- ・横浜市港湾局 クルーズ船寄港へ備え＝「陰圧テント」確保
- ・国交省 グリーン社会WG開催＝夏頃まとめ、港湾・海事施策など
- ・国交省 官民連携基盤整備事業＝案件募集、6月配分
- ・東洋建設 4月1日付人事、機構改革

■令和3年3月8日号（第1729号）

・東日本大震災から10年 港湾における復旧・復興の歩みと、教訓を踏まえた今後の防災・減災対策

- ・港湾局 ブルーカーボン検討委開催＝吸収源対策、オフセット制度試行
- ・国交省 新規事業化候補を公表＝港湾整備事業は7件
- ・港湾局 港湾工事積算基準改定＝令和3年度、歩掛等
- ・土木学会 東日本大震災シンポ＝3/9、オンライン開催
- ・酒田港 第二北防波堤の延伸整備＝北港地区、W T O案件で本体工事
- ・横浜港 山下岸壁を耐震強化＝一部変更を分科会へ
- ・能代港 岸壁の鋼管矢板着手＝大森地区国際物流ターミナル
- ・茨城港 D岸壁に第1船入港＝常陸那珂港区中央ふ頭
- ・ブルーカーボン推進＝横須賀市が取り組み
- ・北九州港 洋上風力積出し基地港湾＝響灘地区、岸壁本体工が開始へ
- ・神戸港 航路附帯施設護岸基礎工＝第2工区の捨石手続きへ
- ・和歌山下津港海岸 藤白護岸工区に順次着手＝企業活動にも配慮し施工
- ・国交省 i-Con大賞を発表＝26団体、釧路、名古屋港の取組等
- ・長崎県 洋上風力ゾーニング実施＝マップ公表、候補エリア5ヵ所抽出
- ・中部圏協議会 水素需要試算等を公表＝港湾受入基地候補地選定を

- ・国交省 質の高いインフラ輸出＝インドネシア、人材育成で協力強化
- ・ J I C A インドネシア漁港整備＝無償資金協力 30 億円
- ・中部空港ら 空港等テーマ書籍提供＝地域の全中学校に
- ・日本郵船ら 燃料電池船の実証運航へ＝横浜港、市と連携協定締結
- ・東京都 埋立地開発事業実施計画（下）＝令和 3～5 年度開発予定
- ・国交省 港湾統計速報 12 月分＝外貿コンテナ 2 %減
- ・舞鶴港 R 2 年取扱貨物量＝前年比 21%減
- ・国交省 建設市場セミナー＝3/17 開催、参加者募集
- ・あおみ建設 4 月 1 日付け人事異動・組織変更

■令和 3 年 3 月 1 日号（第 1728 号）

- ・エネ庁／港湾局 洋上風力導入へ合同会議＝促進区域評価法案件形成加速化方策など
- ・港湾局 気候変動適応策の実装へ＝技術検討委員会を開催
- ・海事局 次世代モビリティ活用へ＝海洋分野産学官協議会を開催
- ・国交省 設計業務委託等技術単価＝平均で対前年比 1.6%増
- ・建設分野 即戦力外国人材の受入れ＝国交省 ベトナムで試験実施へ
- ・国交省 砂浜の利用創出へ＝来年度、手引書作成
- ・国交省 第 3 回 S P P 会合を開催＝質の高いインフラ技術等
- ・国交省 国土計画シンポジウム＝3 / 10、オンライン
- ・横浜港 新年度予算で 3 2 3 億円＝新本牧地盤改良や本土工など
- ・苫小牧港 管理組合が経営戦略＝岸壁・荷役機械の整備
- ・東京都 高速晴海線の延伸部＝事業化へ概略計画検討
- ・大阪港 北港南航路・泊地等浚渫＝今後航路部も工事追加へ
- ・岩国港臨港道路 4 号橋 P 1 橋脚着手へ＝3 号橋は今後上部工予定
- ・高松港 備讃瀬戸北航路交差部浚渫＝朝日地区水深 12m 化も促進
- ・中国地域港湾の将来像示す＝資源・エネの供給拠点形成等
- ・環境省 中央環境審議会総会開催＝瀬戸内海の環境保全など
- ・うみそら研ら オープンイノベ大賞受賞＝海洋油濁防止技術の実用化
- ・東亜建設工業 「冷蔵倉庫の相談室」新設＝新築、改修、改善等に対応
- ・日米間コンテナ（1 月）＝輸出は前年比・前月比でプラス輸入は前年比 5.3%増
- ・商船三井 子会社 2 社を合併へ＝M O L マリン／M O L エンジ＝海洋技術の結集
- ・東京都 埋立地開発事業実施計画（上）＝令和 3～5 年度開発予定
- ・東亜建設工業 社外取締役を増員＝4 / 1 付、人事も発表
- ・N E D O 高圧直流送電 S 構築へ＝3 月公募洋上風力導入に対応
- ・日本郵船 風発タービン稼働開始＝ベルギー完成車ターミナル
- ・（寄稿第 4 回）モーダルシフトによる長距離トラック輸送の輸送力確保と働き方改革

■令和3年2月22日号（第1727号）

- ・港湾局 i-Con 推進委を開催＝B I M／C I M、I C T活用工事拡大へ
- ・国交省 新たに8資格を登録＝総合評価で加点等
- ・国交省 海外プロジェクト技術者認定・表彰＝初認定1077件
- ・港湾局 クルーズ受入高度化支援＝コロナ対策、施設整備補助、公募
- ・令和2年度3次補正発注予定業務（港湾空港関係）
- ・横浜港 新本牧国際C T整備事業＝大型港湾工事を順次発注
- ・仙台塩釜港 小口部ケーソン2函製作＝来年度後半に本体築造延伸
- ・久慈港 湾口防波堤でW T O 2件＝ケーソン製作と築造工事
- ・八戸港 航路附帯施設整備を促進＝B 護岸ケーソン据付予定
- ・大分港 大在西R O R Oバース新設＝地盤改良とケーソン製作
- ・八代港 第1四半期に緊急復旧工＝築堤と約20万m<sup>3</sup>浚渫
- ・高知港海岸 タナスカ地区の耐震改良＝補正予算で西護岸に着手
- ・荻田港 バイオ燃料船受入開始＝新松山岸壁、暫定水深10m泊地整う
- ・福島県沖地震 相馬港に軽微な被害発生＝耐震強化岸壁は健全性示す
- ・国交省 グリーン社会実現へ議論＝合同部会、環境行動計画の改定
- ・東亜建設工業 ナミベ湾開発、工事開始＝C T整備等、450億円
- ・港コン協 W e b意見交換会開催＝横須賀の両研究所と
- ・東亜建設 コーポレートメッセージ策定＝長期ビジョン の達成へ
- ・国交省 インフラD X施策まとめ＝港湾分野等、B I M／C I M構築
- ・国交省 インフラ維持管理データ＝D Pと試行的に接続
- ・国交省 官民連携事業の支援＝先導的、公募開始
- ・国交省 交通運輸技術フォーラム＝3/9、W E B開催
- ・（寄稿第3回）モーダルシフトによる長距離トラック輸送の輸送力確保と働き方改革

■令和3年2月15日号（第1726号）

- ・エネ庁／港湾局 促進区域指定へ要望受付＝都道府県から、3年度選定プロセス開始
- ・国交省 事業再評価結果を公表＝継続対応、港湾22件、海岸3件
- ・閣議決定 造船事業の基盤許可へ＝改正法、支援制度の創設等
- ・国交省 物流拠点の高度化支援＝国際港周辺で公募
- ・広島技調 カルシア改質土の港湾適用＝「実りある学者」133名参加
- ・国交省 積算基準等を改定＝土木工事・業務
- ・令和2年度3次補正発注予定工事（港湾空港関係）
- ・関東地整 横浜・川崎C N P検討会開催＝実現への課題や方向性議論
- ・能代港 大森地区洋上風力基地＝3年度に岸壁本體工実施

- ・北陸港湾が代替輸送訓練＝首都直下・南海トラフ、巨大地震へ広域連携
- ・秋田港 地盤改良盛上り工＝中間処理しリサイクル
- ・中空沖土砂処分場 公有水面埋立承認申請へ＝3年度後半には工事着手も
- ・三河港 次期港計改訂に向け作業＝年度内に長期構想まとめ
- ・八代港 大築島処分場護岸SCP＝補正予算でWTO2件
- ・四国地整 水際・防災対策連絡会議＝管内港湾関係者情報共有
- ・合同部会 社資整備重点計画を議論＝交政基本計画も、春頃閣議決定へ
- ・国交省 社会資本整備交付金＝港湾整備等。1兆円規模を配分
- ・東電RP 浮体式風力実証プロジェクトに参画＝ノルウェー、テトラ・スパー型
- ・国交省 質の高いインフラ対話はコートジボワール案件創出へ技術紹介
- ・茨城県 いばらきの港説明会開催＝貨物量増加、優位性PR
- ・中部地整／港コン協 合同で防災訓練実施＝Web方式で災害情報伝達
- ・土木学会／港空研 水中機器類技術講習会＝受講募集、海洋土木従事者向け
- ・風力発電協会 風力フォトコンテスト＝入賞作品を決定
- ・石狩湾新港 令和2年取扱貨物量（速報値）
- ・（寄稿第2回）モーダルシフトによる長距離トラック輸送の輸送力確保と働き方改革

#### ■令和3年2月8日号（第1725号）

- ・港湾局関係 第3次補正予算1304億円＝ポストコロナ、5カ年加速化対策を推進
- ・国交省 第2次交通基計案を議論＝小委開催、今年春頃に閣議決定
- ・国交省 インフラ分野DX施策＝今夏目途、アクションプラン策定も
- ・国交省 2020年クルーズ速報値＝コロナ影響大、寄港回数87%減少
- ・港湾局 地方再生港整備交付金＝3次補正3計画に配分
- ・航空局 3次補正空港整備事業＝ゼロ国債65億円配分
- ・東北地整 小名浜港CNP検討会開催＝地域産業を支える拠点形成
- ・鹿島港空事務所 鹿島港でケーソン2函＝茨城港常陸那珂港区でも
- ・福井県 敦賀港長期構想まとめ＝鞠山地区物流機能の強化
- ・北陸地整 新潟港CNP検討会＝港湾機能の高度化活用など
- ・CNP 脱炭素化へ民間交え協議＝第1回検討会、神戸、名古屋、徳山下松港
- ・徳山下松港 国際バルク戦略港湾整備＝今後B区J2基の手続きへ
- ・大分空港 滑走路の液状化対策＝護岸越波対策も予定
- ・九州地整 2年度補正発注見通し＝八代港地盤改良、WTO2件など
- ・大阪湾フェニックス 3期神戸沖埋立で準備書＝77ha、着工後約8年で護岸
- ・経産省 グリーンイノベーション＝基金創設、3次補正で2兆円計上
- ・応用地質／日本郵船 洋上風力、海底地盤調査＝フグロ社と協業、サービス展開へ覚書手結

- ・三菱重工 風力設備販売会社設立＝ヴェスタス社と合弁
- ・NEDO CCUSの大規模実証へ＝苫小牧港、近く事業者公募
- ・川重／日立造船 シールドマシン新会社＝海外展開見据え、設立へ基本合意
- ・国際石油開発帝石 ゼロカーボン社会へ＝経営方針、再エネ注力
- ・第15回海の再生全国会議（2/17）＝新しい大阪湾再生に向けて
- ・航空局 空港所除雪の自動化推進＝実証試験
- ・国交省 建設現場の革新的技術＝プロジェクト報告会
- ・土木学会 建設ロボット実用化へ＝異分野技術者交流会（2/15）
- ・寄稿（連載第1回）モーダルシフトによる長距離トラック輸送の輸送力確保と働き方改革

■令和3年2月1日号（第1724号）

- ・農林水産物等 産地・港湾連携で輸出促進＝支援拡充、利活用方策の検討も
- ・リサイクルポート循環部会 鉄リサイクル輸出ビジョン＝国際競争力強化へ中間まとめ
- ・港湾局 遠隔RTGの導入を支援＝新規整備等、3港で取組み促進
- ・国交省 直轄工事関係資料を公開＝港湾空港の契約状況等
- ・RSO 「脱炭素化港湾への挑戦」＝第3回フォーラム開催
- ・国交省 港湾統計速報11月分＝外貿コンテナ7%減
- ・羽田空港 空港アクセス鉄道が始動＝今秋から京急駅引上線整備
- ・年度内目途 東北港湾ビジョン策定へ＝目指すべき方向性、戦略
- ・北陸地整 港湾ビジョン（案）まとめ＝『新・日本海北前船構想』
- ・あおみ建設／宮城県 棧橋復旧事業で国交大臣賞＝インフラメンテ Re-Pier 工法
- ・鹿児島県 臨港道鴨居中央港区線＝鋼製橋梁区間を先行整備へ
- ・中国地整 港湾の中長期構想検討＝年度内に策定・公表へ
- ・浜田港 新北防波堤東50m延伸＝基礎捨石等初弾工事手続き
- ・中国物流戦略チーム 浜田港利用者懇談会＝コンテナ航路の利便性向上
- ・名古屋技調 第23回民間技術交流会＝聴講者募集中（2/18開催）
- ・宇部興産／港空研 深海でセメント系材料活用＝技術確立へ期待、劣化機構を調査・分析
- ・和歌山県 洋上風力ゾーニングマップ＝年度内策定、環境調査し、エリア区分
- ・九電みらい 潮流発電実用化へ実証＝長崎県沖、国内初、大型機設置
- ・大成、本間ら 新潟沖で洋上風力計画＝アセス方法書、最大出力40万kW規模
- ・三井E&S 遠隔モニタリング開発＝次世代港湾クレーン
- ・国交省 超高強度コンクリ技術＝道路、港湾等、技術比較表を公表
- ・国交省 自動離着棧システムの開発＝高精度測位技術活用
- ・国交省 官民連携基盤整備調査＝補助事業、案件募集
- ・三菱重工 ドイツで水素プロジェクトを推進＝欧州企業と基本合意
- ・NEDO 未開発海域の調査＝洋上風力の導入へ



- ・土木学会デザイン賞＝表彰式開催

■令和3年1月25日号（第1723号）

- ・港湾局 港湾行政の方向性、施策展開＝高田局長、重要港湾主幹課長会議
- ・沿岸センター／海洋調査協 洋上風力の海底地盤評価手法＝本年秋に手引き作成へ
- ・政府 国土強靱化施策の推進＝年次計画、策定方針まとめ
- ・空港 耐災害強化対策を推進＝5か年加速化、浸水、耐震整備など
- ・国交省 交付金の重点配分対象決定＝社会資本整備／防災・安全、港湾老朽化対策など
- ・港湾局 基地港湾の貸付制度＝洋上風力、契約書案を公開
- ・国交省 建設施工自動化・自律化＝産学官協議会設置へ
- ・国交省 物流ネットワークの代替性検討＝自然災害を想定
- ・伏木富山港 ケーソン4函製作の手続き＝水深10m2号岸壁改良
- ・北陸地整 洋上風力基地も検討＝港湾ビジョン素案（案）
- ・清水港 次期改訂計画案をまとめ＝新興津地区、国際コンテナT機能強化
- ・広島港 宇品ふ頭の再編改良事業＝鋼矢板、控杭工の延長部へ
- ・大阪港 WTOで浚渫工2件＝北港南地区航路・泊地等
- ・熊本港 利用促進検討会を設置＝内航航路確保へ機能強化
- ・港湾局 作業船の係留施設確保へ＝各港で調整、整備を
- ・柴山港外防波堤（西）＝10函目ケーソン打継工
- ・鹿児島港 谷山二区係留施設＝第1期バース最終築造へ
- ・JOGMEC CCS事業の取組み推進＝カーボンニュートラルへ
- ・水産庁 港湾背後の市場整備等＝基盤整備事業726億円
- ・国交省 海事産業の基盤強化等＝2月、法案提出へ
- ・関西電力 遊佐沖で洋上風力計画＝アセス配慮書、最大49万kW規模
- ・JICA アセアン港湾戦略運営＝技術協力、研修開催
- ・円借款事業 パティンバン港運営開始＝急速施工、披露式典開催
- ・ISA 深海底の環境調査指針＝岡本硝子、江戸っ子1号を推奨
- ・広島技調 第2回実りある学舎開催（Web方式、2/4）
- ・海事局 先進船舶導入支援事業公募開始

■令和3年1月18日号（第1722号）

- ・港湾局 水素社会へ港湾機能高度化＝今月からCNP検討会開催
- ・赤羽国土交通大臣 新春のご挨拶
- ・埋浚協会 元年度埋立浚渫土量実績＝海外受注現況もまとめ
- ・交政審 造船業の基盤整備方策等＝制度創設要望、国交大臣に答申手交
- ・国交省／厚労省 建設業担い手確保へ連携＝来年度予算で取組推進

- ・茨城港 直轄で東防波堤と12m岸壁＝常陸那珂港区、県は埠頭用地整備
- ・敦賀港 鞠山南国際物流ターミナル＝岸壁上部工事の手続き
- ・新潟県 水素利活用へ促進協＝実証プロジェクトも
- ・名古屋港 飛島ふ頭東地区岸壁再編＝B工区上部工の手続き開始
- ・神戸港 航路附帯施設岸壁の築造＝捨石第2工区を第1四半期に
- ・津松阪港海岸 堤防改良が最終段階へ＝5年度の全区間完了を予定
- ・年頭の辞 和田浩一国土交通省航空局長
- ・企業トップの年頭所感（五洋建設、東亜建設工業、東洋建設、若築建設）
- ・環境省 地域の浮体式風力導入支援＝6件採択、脱炭素化ビジネス促進
- ・国交省検討会 次期物流施策大綱へ提言＝港湾・空港の重点施策等
- ・設計士会が勉強会開催＝港湾基準適用の設計事例
- ・室蘭市 室蘭港長期構想を策定＝新規岸壁、埠頭確保等
- ・商船三井 波力発電で協定締結＝英国法人とプロジェクト検討
- ・NEDO 新エネのシーズ発掘＝風力促進など4件採択
- ・国交省 インフラメンテ大賞＝オンラインで表彰式

■令和3年1月4日・11日合併号（第1721号）

- ・高田港湾局長 新年のご挨拶
- ・赤羽国土交通大臣 新春インタビュー 「港湾で脱炭素化推進を」
- ・CPN 港から新しい時代が始まる＝水素社会実現を港湾が先導
- ・港湾局 6つの新規制度創設・拡充＝再度災害防止、津波対策等
- ・閣議決定 港湾関係税制改正＝特例措置の延長等
- ・ブルーカーボン オフセット制度試行へ＝港湾局検討会開催、全国統一の市場化目指す
- ・港湾分野の海外展開促進＝インフラ輸出戦略2025
- ・国交省 海の次世代モビリティ＝第2回産学官協議会開催
- ・関西空港、中部空港 国際線ターミナル拡充＝3年度からリノベーション
- ・国交省 防災・減災対策本部開催＝夏頃に第2弾プロジェクトまとめ
- ・苫小牧港 新外航RORO船就航＝極東ロシア航路
- ・国交省 日ロ次官級会合を開催＝港湾、海事等で協力を
- ・国総研 令和3年度新規7課題＝国際コンテナ、背後輸送効率化など
- ・国総研 多方向波浪の越波対策等＝第3次補正案、予算計上
- ・グリーンインフラ大賞 優秀賞22件を決定
- ・五洋建設 125周年記念ロゴ